

広報

# おます

2022

5

No.208

(特集) 祝 5代目肱川橋開通



# (特集) 祝 5代目肱川橋開通 ～渡り初め式～



3月12日(土)、国道56号5代目肱川橋の渡り初め式が行われ、仮橋から新しい肱川橋へ交通が切り替わりました。肱川橋橋梁架替事業は、大規模地震時の耐震性能確保や、安全・安心に通学・通勤ができる

歩行空間の整備を目的として平成21年度から進められてきました。

今回の特集は、渡り初め式の様子と肱川橋の歴史、肱川流域に架かる市内のさまざまな橋を紹介します。



市役所で行われた式典



テープカットとくす玉を開披して完成を祝う



大洲藩鉄砲隊の祝砲で渡り初め開始



家族三代による渡り初め (谷本さんご家族)





新しい肱川橋は、橋長184m、幅14.5m、歩道幅員3m。橋脚が5本から3本になり、桁下に見える電気や通信、水道などの添架管を桁間に設置するなど、景観に配慮した設計になっています。歩道のバルコニーからは、肱川の流れや大洲城、富士山が一望できます。

交通切り替え【3月12日(土)16:00】



のぼり旗を持って川面から祝福する大洲高校カヌー一部



広くなった歩道



歩道のバルコニー



広報おおず 2022年5月号

3

# 肱川橋の歴史

渡場の浮亀橋



初代



大正2年9月 肱川橋開通式 出典：大洲市誌写真版

2代目



3代目



肱川に橋が架かる以前は、川舟で往来していました。明治以後、肱川には城下渡し、榊形渡し、油屋渡し、柚木渡しと公認の4渡しがあったようです。明治6年（1873）に行商人から舟橋のあることを聞いた大洲町の戸長らが13隻の川舟を杭でつないで横に並べ、洪水になっても容易に取り外しのできるように板を並べた簡単なものを作りました。遠望すると亀が首を差し伸べたように見えることから「浮亀橋」と言われました。

初代の肱川橋は、大正2年（1913）9月に開通しました。開通式当日の写真には、「長さ九九間（約180m）高さ一五尺（約4.5m）、さらに水底に埋没させる台石の高さ二五尺（約7.5m）、肱川の清流蜿蜒唯一の壯観にして、四国随一と稱せられる」と説明があります。大洲町では9月1日から3日間、開通を祝う催しが繰り広げられました。

（引用：大洲市誌）

2代目は、初代の上部工をケーブルで吊る補強を加えています。その後、自動車の普及による交通量の増大に伴い、国道56号線が整備されて、昭和36年（1961）に2車線のプレートガーター橋に架け替えられ、橋脚もコンクリート製となった3代目の肱川橋が完成しました。また昭和42年（1967）には、主桁の増設によって下流側に向かい2.5mの拡幅が行われ、歩道が整備された4代目肱川橋となりました。



3代目工事中の写真（2代目と3代目が並んでいる）



3代目の肱川橋と肱川橋通り（手前左側が当時の大洲市役所）

## 4代目から5代目へ



平成27年(2015)11月



平成28年(2016)10月



平成28年(2016)1月



平成28年(2016)10月



平成30年(2018)1月



平成29年(2017)3月 コンクリートの中にあったレンガ造りの初代橋脚



平成30年(2018)9月



令和3年(2021)1月



令和3年(2021)10月



令和4年(2022)2月

## 5代目開通



令和4年(2022)3月

# 肱川に架かる橋の風景



肱川流域には、大小さまざまな橋が架けられています。本川を中心に市内に架かる特徴的な橋を下流から紹介します。( )は、完成年。

新長浜大橋(1977)



長浜大橋(1935)



旧大和橋(1935)の親柱



大和橋(2013)



白滝大橋(2001)



6 広報おおず 2022年5月号

祇園大橋(1996)



峠橋(1985)



畑の前橋(1974)



五郎大橋(1999)



肱川橋梁  
※1936年伊予大洲駅～伊予平野駅間開通



富士橋(1979)



新富士橋(1987)



大洲大橋(1990)



大洲大橋 (E56松山自動車道)  
※1991年大洲南IC～大洲富士IC間供用開始



父橋(1968)



逆巻橋(1989)



宇津橋(2012)



大成橋(2022年6月末 完成予定)



大川橋(1979)



旧大川橋(1930)の親柱



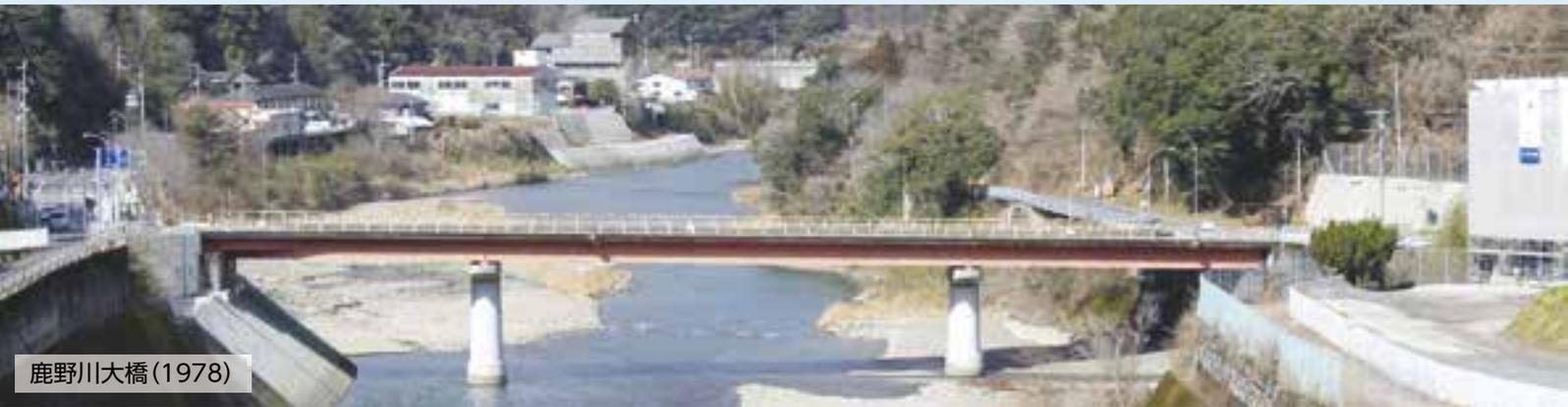
道野尾橋(1988)



赤岩橋



左:赤岩橋(1965)歩道と右:赤岩橋(1999)



鹿野川大橋(1978)



鹿野川湖大橋(1996)



新大谷橋(1990)



大谷橋(1957)



とどろ 轟大橋(1989)



龍王橋(1997)



ふれあい橋(1991)



御幸の橋(1886)